

群青かわら版

発行所：東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 学友会室
群青編集委員会
(C)群青編集委員会
2004

新公認・準公認サークル特集

中国拳法愛好会

——このサークルはどのような活動をしているのですか。

少林寺拳法・太極拳・輕意拳・武器法などを中心とした中国拳法の修練を月曜日・木曜日の日・日曜日の週三回、二〜三時間程度行っています。活動時間に関しては他に、月曜日と木曜日の放課後も現在検討中です。場所は公共のスポーツジムや電通大構内の空いているところ等でやっています。その他にも、全日本中国拳法連盟への出向修練を随時行っています。活動目的は伝統武術の修得です。たくさんの方に中国拳法の良いところを知ってもらいたいと思っています。

これからどのような活動をしていきたいですか。

今までは準公認だったので宣伝活動に制限があり、なかなかこのサークルを知ってもらう機会がありませんでした。だからまずポスターを学内に貼る等して、このサークルの存在を学生の皆さんに知ってもらいたいですね。何よりもまずは大学での活動をしっかりやっていきたいです。それから大会にも積極的に出場して、より一層自分達の技術の向上を図りたいと思っています。

——ありがとうございます。

中国拳法愛好会のWebサイト
<http://wushu.hp.infoseek.co.jp/>

今回出された議案は「中国拳法愛

好会の公認およびサークル名変更願」であり、公認願の他にサークル名を変更する議案も平行で審議していました。しかし時間の関係と優先順位から、議案からサークル名変更願の箇所を削除し、公認願の方のみが採決されました。

ネイチャーゲームの会

——このサークルの活動内容を教えてください。

子供達といろいろなゲームをすることで自然とはどんなものか、自分と自然の関係がどんなものであるかを学びます。ゲームには様々なものがあり、例えば、「こうもりとガ」という二つの動物の食う食われるの関係を体験して学ぶものや、「木の鼓動」という木の中から聞こえてくる音を聞くものがあります。これらは森林等の自然の中だけではなく、町中の公園や学校の校庭でもできるものもあります。このようなことを通して、自然や環境がどのようなものであるかを知ったり、他人への思いやりや生命を大切にすることが強く

なったりします。ちなみにこれは、一九七九年にアメリカの自然学者ジョセフ・コーネル氏が発表した自然体験プログラムです。おそらく、人間と自然の関わりが薄くなったので導入したのでしょう。

——どんな人に入会してほしいですか。

「ネイチャーゲーム」ということで、自然に関する特別な知識がなくても、また、年齢に関係なく豊かな自然の持つ様々な表情を楽しめますので、植物や動物などの自然が好き人はもちろん、環境を大切にしたい人にも来てほしいです。また大勢の子どもたちと遊ぶので、小さな子供が好きな人にも来てほしいです。

——ありがとうございます。

ネイチャーゲームの会の

Webサイト

<http://f19.aacafe.ne.jp/~uecng/>



準公認サークルへの道

今回の学友会総会において、三つのサークルの準公認願が出され、すべて否決されました。

これは今回の否決を踏まえ、新たに準公認願を出そうと考えている方へのアドバイスとして掲載しました。ぜひ参考にしてください。

1. サークル名は分かりやすく

いろいろと採めるのがこれです。カッコイイと当人が思っている名前ほど、名前からサークルの実態が分からないものです。変な名前のサークルはまずこれで落とされます。また電通大では部と同好会の違いがありません。学友会準公認、公認の違いがあるだけです。

2. 活動場所を確保するため、勧誘活動をするため、というのは準公認願いの理由にはならない

よくこれを理由に準公認願を出す方がいますが、場所の確保は個人でも行えます。また勧誘活動は

学友会に申請すれば、準公認願が無くてもできます。

3. 予算の使い道とその額の概算を

準公認サークルにはサークル援助金は支給されません。しかし準公認願を提出するということは、将来的に公認になるうとして見なされます。そのため、準公認願の段階で予算を立てておかないと、非常に苦しいこととなります(何のために準公認を得るのか分からない)。また何が援助金の対象になって、何が必要なのかわかりませんと把握しておかないと、準公認願の段階でもまず叩かれます。連盟費や消耗品などサークルで使うものは対象になりませんが、個人で使うような交通費、宿泊費は対象にはなりません。

4. 活動内容は一つに

あれもやりたい、これもやりたいというサークルが毎年準公認願を出して、毎回蹴られています。理由は単純で、そのようなサークルにはサークル援助金を出せないからです(予算の立てようがない)。活動内容が一つに絞られていけば、予算を立

てることはたやすいはずですが、活動内容を広げるとは、サークルがまとまり機能し始めるようになってからも遅くはありません。

5. 活動実績三ヶ月以上

はつきり言って、これがないと準公認願はまず通りません。これからやるうと思っけています。というサークルを誰が認められますか? 私たちはこういう活動をやっていきます、それを認めてください。と事後承諾させるくらいの勢いで行かないとまず通りません。そのために調布祭に個人参加するというのも一つの手です。

6. 学友会公認ということだけが手段ではない

例えばM科のロボメカ工房といった、学科公認のサークルに近い集団もあります。これを目指すのも一つの手です。今回準公認願を蹴られたセンチメンタルピクチャーズも、ある程度H科からの承諾は得られていたようでしたので、H科のサークルとして活動すればいくらでも可能性はあると思います。

至極当然のことしか書いていません

んが、これさえもできていないサークルが準公認願を毎年のように出してきます。1〜5を実行すればよほど変なサークルでもない限り通るはずですが、これからサークルを作ろうと思っけている人はがんばってください。

文責 中山@サバゲー同好会 (非公認)

編集後記

偽りの中で何がホントで慣れてそのうち染まったら……いつかは楽になれると信じて今は叫ばずに過ごそう……。体調を崩してテンパっていました。慣れたおかげが発行日の前日のうちに編集終了しました。

今回は癒し系を募集していましたが、これも猫のナゲツトを見かけなくなってきたからだよなあ……。群青では引き続き癒し系を募集しています。

群青委員会へ意見のある方はこちらまで gunjyo@st0.xrea.com ンでサバゲーに興味のある方はこちらへ shintar30@hotmail.com